

高知県労連
 No. 138
 発行：高知県労連書記局
 住所：高知市丸ノ内2-1-10
 〒780-0850 高知城ホール3階
 [TEL]088-872-3406
 [FAX]088-822-7969
 ホームページもご覧下さい

内需主導型の経済へ転換！

良質な雇用を求め 労働局へ要請



労働局要請の様子

県労連は二月二十一日、雇用問題について労働局へ要請を行い、若者・高齢者の働く場を確保する政策や制度改善のための国への意見反映などを求めました。

県労連からは十七人が参加、局側は七名が対応しました。高齢者雇用では、正職員の雇用拡大、非正規の正規への転換支援策、若者相談窓口の更なる改善、労使そろった労働問題セミナーの開催などを求めました。正規への切

り替えでは、国の制度紹介の更なる推進、企業独自の転換策の事例紹介などについて前向きな発言がありました。特に、高卒者がまだ二百名近く未内定となっているとし、正規で就職できるように全力をあげると表明。労使共同セミナーについても検討すると表明がありました。

高齢者雇用の問題では、地方自治法の一部改正に伴ないシルバー人材センター以外の「高齢者支援団体」を各自治

地域主権改革』で町村会・県へ要請

二月一六日、県労連は、地域主権改革について、従来の基準が引き下げられるのではないよう、慎重に対応することを求め町村会長と県へ要請を行いました。

町村会長は越知町の吉岡町長。全国町村会は道州制と国の出先機関の廃止に反対の立場を取っており、県労連の

体が条例に基づき認定することになりました。これを先行している高知市以外にも広げるため、労働局として自治体と連携して取り組むことを求めました。

雇用確保の「基金事業」について、十二年度は実質的に継続できませんが、十三年度以降も継続できるように強く要請しました。局側も打ち切りによる雇用への影響に懸念を表明、継続できるように本省に要請することを約束しました。

派遣法、パート労働法、有期雇用など労働諸法制の改正問題でも改善を求め実効ある改正になるよう要請しました。

要請に対し「主権という言葉に危機感を持っている。要は国の責任の丸投げ」ときつぱり

地域主権改革に反対しました。また、二十六年度と言われている、地方への移管についても、具体的な法令整備や準備は進めていないことを明かし、「地域主権」「道州制」「国の出先機関の廃止」この三点

ではお互いに協力できるということを確認しました。



県庁・地方分権担当者への要請

引き続き実施した、県への要請では、県の地方分権担当者が対応し、十七年から二十年にかけての職員十・九%の減少を認めながら、「この主権改革を機に、市町村には現在の状況や配置を見直していただき、人員の増員を含めて検討する機会になる。」という趣旨の発言を行いました。

これに対し、地域主権によって予算が削減され、従来の諸基準が引き下げられては意味がなく、行政の後退に繋がらないよう、国並びに関係機関に働きかけることを求めました。

窪川原発闘争の教訓 ④

窪田 和教

原発とお金ですが、先に町民の原発視察旅行にふれました。四千人を単純に一人二万円としても八千万円ですか。実際はこんなもんじゃないでしょう。すごい買収金額といえます。

裏のお金がどう動いたかはわかりません。窪川ではないですが、高レベル放射性廃棄物処理場誘致があった津野町に、笹岡優さんと町の有力者を訪ねたことがあります。その人は「推進の運動してくれたらいくらいくらの金をやる、といわれたが断った」と話しました。その金額はびっくりするものでした。「津野町全体の工作資金と間違っているのでは」。話半分にしてもすごい金額を口にしました。実態はわかりませんが、その上のごとを聞くことしませんでした。ただ、赤旗九月十三日

付けにも報道されましたが、石川県では原発賛成派住民に一〇〇万円を配ったこともありました。それらを考えると、あながち、という感じも受けます。

少しわき道にそれますが、原発はやくざの資金源になっているという話もあります。インターネットで「原発用地・やくざ」と入れたら数多くヒットします。関西電力の用地買収に協力したやくざが三十億円要求したとは朝日新聞のスクープだったと思えますが、有名な話です。他にも、二億円要求したなどの記事が週刊誌に載ったことがあります。これは氷山の一角でしょう。電力会社の公務員の天下りの一番多いのはどこかわかりますか。九月二十七日付け高知新聞に「東電天下り役人五十一人」の記事が載っています。経営にアドバイスする顧

問は国交省二、警察庁一、嘱託は四十八人で、そのうち地方警察官が三十一人でトップです。東電副社長は「電力会社にはいろいろな仕事がある」とコメントしています。ちなみに、顧問は年間報酬七〇八万円。嘱託四三四万円。民間の出身の嘱託の人を含めると年間二十億二四〇〇万円人件費に使っています。十月七日付け高知新聞に東京新聞の記事を載せています。ここには、東電関連会社が老人ホームから釣堀りまで経営していることが書かれています。

原発労働者を派遣するのもやくざが介在しているとのウワサは絶えません。インターネット上では、日当十数万円の仕事で、労働者に渡るときは八千円になつていた、などのひどいことあるようです。警官はやくざ対策の人員というのが、一般的な見方です。立地のときの思想調査なども警察の仕事になるようです。

電気料が払えずにろうそくを立てて、火事になって小学生が死んだという記事もあります。やくざや天下り役人に払う金があれば、そんな人の電気代をまけてやれ、といいたい。

原発は苛酷事故だけでなく、「やらせ」問題も浮上しています。札幌で田舎の住民のほほを打つ原発立地工作もありました。原発を作った自治体もお金で縛られ、一度作ると次々とつくらなくてはいけないようになっていきました。さまざま問題がある原発は廃止し「原発ゼロ」が道理ある道だと多くの国民が考えて始めています。「原発ゼロ」のたたかいはしたことを窪川町民は誇りにおもいますし、原発を作らさなかつた高知県こそ、自然エネルギーの先進県になる使命があると思います。



針路

古知屋恵子さんの「原発かるた」がいま話題。原発行政のデタラメを批判して鋭い。「おーるでんか すすめてでんきつげにする」。「えいきょうはないよあくまで ただちには」▲原発全基停止間近。原子力村の住人が恐れるのは「げんぼつをとめてもただちに えいきょうなし」の露呈。そのため原発再稼働を急ぐ。むかしの基準とむかしの顔ぶれでストレステストを通し、お墨付きを得たいのが本音。四月一日の原子力規制庁発足前に一基でも再稼働させ、同じ顔ぶれでのスタートをねらう▲電力の需給見通しでも隠蔽体質が露見。今夏の電力供給は原発全基停止だと、一昨半夏並みの暑さで九・二%の不足との予測。しかし、もう一つ握りつぶされた予測があった。

「最大六・〇%の余裕」。調達可能な再生可能エネルギー、一部火力発電の定期点検延長、大口契約社の電力ピーク時の利用移動を盛り込んでいる▲福島第一原発の事故原因の徹底究明、地震予測の新知見の採用、それらを取り入れた新しい安全基準の策定、新しい顔ぶれでの原子力規制庁の発足、これらが必要▲政府の基本方針は、「原発への依存度を低める方向」だとも取られるが、「依存体質」からの脱却の方針でないことは明確。タバコは健康に悪いと言いつつ、まずは節煙。結局、「禁煙の先延ばし」にも似ている。まずは、脱原発の基本方針を明確にすることだ。(田)



JAL 不当解雇撤回裁判 争議支援集会を開催

～ 解雇を撤回させ、あの空へ帰ろう ～

二月二十一日、高知城ホール二階にて、JAL 不当解雇撤回裁判争議支援集会を開催しました。原告団から、パイロット一名と客室乗務員の三名を招き、会場には約六〇名が集まりました。争議の支援と、支える会の立ち上げに向けた運動が確認されました。(原告団・長澤さんの訴えを掲載します。)



争議支援集会の様子

年末の解雇強行

二〇一〇年十二月三十一日、日航は一六五人の整理解雇を強行しました。当時、希望退職などにより、大きな利益を上げていた状況からも、整理解雇の必要はありませんでした。そして、パイロット・客室乗務員一四八名が解雇撤回を求めて東京地裁へ提訴しました。

解雇四要件を無視

整理解雇には、①高度の必要性②解雇回避努力③人選基準の合理性④手続きの妥当性の四要件が必要になります。

しかし、日航は希望退職などによって、当初の計画を千二百億円も上回る営業利益を上げており、最高経営責任者である、稲盛会長も記者会見で「整理解雇の必要性はなかった」と認める、乱暴なやり方だったのです。

また、経験豊富なベテラン労働者を解雇にし、人選基準の合理性がないことはもちろん、空の安全性をもないがしろにしています。

さらに、労働組合が解雇撤回のために提案した「一時帰休やワークシェアリングの実施」についてもまともに検討すらしていません。

個人の尊厳と空の安全を取り戻そう!

いま、日本航空で働く労働者は、長時間過密労働の下で働き続けています。日々の業務に追われる中で、空の安全性を確保できない状況も生まれています。これは、「安全と公共性」が求められている公共交通機関でありながら、儲けを第一の優先課題とし、空の安全性を蔑ろにしてきた経営陣に責任があります。個人の尊厳を守り、

「安全運航」を確立するため、戦い続けていきます。ぜひ「支える会」の支援とご協力を宜しく願います。



原告団の林さん

物言う労働者の排除

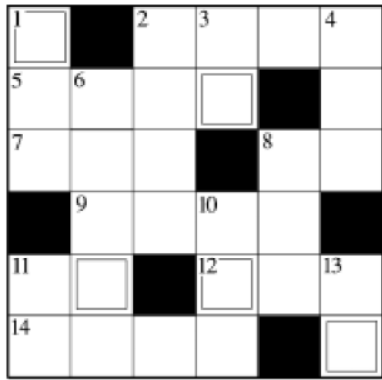
今回解雇になった労働者の多



市役所前宣伝の様子

くは、労働組合の幹部や役員経験者、代議員経験者です。整理解雇の裏には、こういった「物言う労働者」の排除と組合の弱体化を狙った攻撃があります。

近年、『解雇の四要件』が軽視される案件が多数発生しており、この解雇撤回闘争が今後の力関係を大きく変える可能性があります。この闘いはJAL労働者だけではなく、全労働者の闘いです。三月末の判決へ向けて署名のご協力を宜しく願います。



クロスワードパズル

カギを解き二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何でしょう

【タテのカギ】①—骨を支える ②釣果 ③〇〇で矢を射る ④—撫子、

【ヨコのカギ】②—を問わず働きづめ ⑤書店で雑誌を—する ⑦—を誇る ⑧釣り〇〇を垂れる ⑨まわり道 ⑩始発の〇〇が鳴った ⑫—を売れ口。—を広げる ⑭かわいがっている犬

—言葉 ⑥鳩、鷹、鴨、鴉など ⑧その意見に誰も—はなかった ⑩交通—で罪に問われる ⑪ベースアップの略 ⑬損失、むだ。時間の〇〇

クロスワードパズル
図書券プレゼント
チャレンジ

〈応募方法〉

クロスワードの答えと、機関紙の感想、組合名、郵便番号、住所、氏名、年齢を記入の上、県労連書記局宛にお送り下さい。

抽選で三名様に図書カードをプレゼントします。

(ハガキ、FAX、メール)締め切りは三月末までとなります。

当選者の発表

137号・クロスワードパズルの答えは「ユキガッセン」でした。当選者は左の方々です。おめでとうございます。

〈当選者〉

- 境 晴美さん (室戸市職労)
- 村上 やよいさん (高知県教組)
- 小笠原 秀春さん (高知県教組)

なくそう原発
3.11 高知集会

日時：3月11日（日）14：00～
場所：高知市丸ノ内緑地（高知城南側）
内容：集会（福島からの訴え等）
パレード（帯屋町アーケード）

東日本大震災から1年、未だに被災地復興や原発問題は収束していません。3.11集会を成功させ、原発いらぬ世論を大きくしましょう！

川柳コーナー

- 基地深くなお普天間に沈み込む (幸泉)
- 足かせになった年金消費税 (幸泉)
- 言い訳に電力不足言いふらす (幸泉)
- 不祥事にマキコまれたね防衛相 (高橋狸)
- 最後までハツラツ相撲土佐ノ海 (高橋狸)
- 依存症治らず原発再稼働 (源朝光)
- メルトダウンした脳みその冷温停止 (源朝光)
- 独占で電気値上げはとうぜ(で)んです(源朝光)
- 時事川柳を募集中!

おたよりの紹介

高知県教組 (H・M)

最近の大阪の状況は、持病の高血圧によくありません。いくら市民の声(票)で選出された首長といても、限度があるのではないのでしょうか？ニュースや新聞を見るのが恐くなってしまいます。

南国自治労連 (S・C)

年度末が近づき、仕事の段取りを考えつつ、子どもが保育園に入所できるのか・・・気になるところです。早く結果が出て欲しいです。

四万十町職労 (I・K)

最近、少し温かくなったと思ったら、雪。まだまだ寒いですが。先日久しぶりに風邪で寝込んでしまいました。やはり健康が1番です!!

高知県教組 (M・Y)

四国最低生計費試算のための調査票を書きながら「健康で文化的な最低限度の生活」よく耳にするし、自分自身も口にする言葉ですが、じゃあ・・・具体的に・・・と考えると、個々人の満足度もちがうし・・・切りつめ方もちがうし・・・と悩みます。

でも、何もない想像では、説得力ないし、それにしても大変な量だ・・・ハア・・・

高知県教組 (N・H)

大阪の教育基本条約・職員基本条例は本当に許せない。断固阻止したいものです。